

## スタジオパーク 「北方領土 元島民の願い」

2012年02月07日(火)

今日2月7日は「北方領土の日」、ロシアが実効支配する北方四島の返還を求める全国大会が東京で開かれました。高齢化が進む元島民の間では、政治のリーダーシップによる問題の早期解決を望む声が、一層高まっています。

「我が国固有の領土を返そうとしないロシア」に対し、強い交渉力で立ち向かってほしいという元島民たちの心情について田中 和夫解説委員に聞きます。

Q1 確か去年も、この番組で、この北方四島の返還を求める全国大会の話題を取り上げましたが、2月7日が「北方領土の日」だということも、依然として多くの人に知られていないようですね？

A1 政府が「北方領土の日」を定めたのが、1981年ですから、今年で32回目になりますが、目標としている、国民が一丸となって領土返還を求めるという機運には達していませんね。

「北方領土の日」を2月7日にしたのは、157年前の1855年のこの日に、日ロ間で国境を画定した最初の条約である「日露通好条約」が調印されたからです。

日露戦争のはるか以前に結ばれた、この条約でロシアは「北方領土が日本の領土である」と認めています。

ですので、「我が国固有の領土である北方領土を返せ」と返還を求めている日本にとっては、よりどころとなる重要なものなのです。